

# 生存科学研究ニュース

VOL. 11, NO. 5

1996. 9. 10 発行

発行 財団法人 生存科学研究所

〒104 東京都中央区銀座4-5-1

電話 03-3563-3518

生存科学研究所専務理事を拝命して  
師岡 孝次

本年度の第1回常務理事会つづいて第2回理事会において、専務理事を務めるよう、理事長代行の江見先生を始め諸先生からのご指



名がありました。またバイオサナトロジー学会の会長土屋先生やト部先生からも手伝うようにとのお言葉をいただきましたので、このご指名をお受けすることにいたしました。

拝命の理由としては、長年、常務理事としてご指導いただいております、また本財団の創立者であり、元日本医師会の会長武見太郎先生には、日本医師会の医療システム委員や病院委員に任命していただき、長年に渡って、医療分野での多くの実際問題を勉強する機会をいただき、特に東海大学医学部の初代名誉医学部長でもあられた武見先生から、同医学部で医学の勉強の機会も与えられ、医学部の病院管理学教室で教鞭も取るようなご配慮をいただきました。

お蔭様で現在、日本学術会議の委員、日本

危機管理学会長、中国医科大学の顧問教授やウインザー大学の客員教授を務めさせていただいております。誠に浅学非才の身でありながら、少しでもお役に立つことができると考えております。

もとより、前任者の小平さんのように政財官界に豊富な人脈を持ち、天才的な能力をお持ちの優秀な方の後任には全く不適ではあります。池田さんを始め小林さん、西田さんのような非常に優秀なスタッフの方々と一緒に仕事ができるのは誠に幸いであると感謝しております。

昨年も厚生省の依頼でインドネシアのジャカルタで開催されたアセアン諸国の医療会議に講演に行った際も現地のJICA 担当者が生存研の武見賞の受賞者であった上原医師で、大変お世話になった楽しい経験も、生存科学研究所の実績が着実に開花している証拠と確信しております。

経済大国で情報社会の最先端に行く日本は高齢少子化が急速に進み、このまま進みますと日本民族は800年後には零になると予測され、日本民族の生存が重要課題になると思われ、したがって、生産性向上運動から生

存性向上運動に転換して、地球環境を始めあらゆる分野での活動を啓蒙推進していかねばならないであろうと考えております。

最後に、財団所管の科学技術庁の藤木完治課長様、大井田隆調整官、美頭克俊事務官、桑川泰一技官の方々のご指導とご鞭撻を賜りたいと存じます。どうか理事の諸先生を始め会員の皆様、宜しくお願い申し上げます。

### 聖地巡礼の旅で学んだこと 江見 康一

毎年8月下旬に開かれる、国際財政学会が、今年はイスラエルのテルアビブ大学で開催となり、参加の機会を得た。

イスラエルというと、いつも周辺の諸国とたえず紛争が起きている問題の国というイメージがあって周囲から「大丈夫ですか」と言われたが、一部の地域はともかく、イスラエルの大部分は平穏と考え、好奇心をもって出かけた。テルアビブの地中海沿いのホテルから真下の砂浜で泳いでいる多くの観光客を見た時、思ったより平和な空気を感じた。

学会のテーマは、Gloverlization of Economic and Financial Activities で、中東における経済・金融のグローバリゼーション（世界一体化）の議論が中心であり、リヨン・サミットの主題とも似た現代の世界経済の流れに沿うものであった。しかしイスラエルにとって、この課題である中東の経済・金融の統合化を志向するには、もう一つの柱である軍事・外交面の問題と切り離しては論じられないであろう。さらにいえば、このような統合化の文化的基盤として、数千年に及んでこの

地域に繰り返されてきたさまざまな民族、宗教の織りなす歴史の重みを抜きにしては、分析は表層的なものに止まるのではないかと思われた。それはポスト・学会ツアーに参加して、イスラエルの北半分を周遊した、いわば「聖地巡礼」の旅をした率直な感想である。

学会の用意してくれたツアーは、エルサレムをハイライトとして、世界最低地である死海での浮遊体験、ローマ軍とユダヤ人の激戦地マサダの城壁、キリストの生まれたベツレヘム、キリストが両親と住んだナザレ、「求めよさらば与えられん」のフレーズで知られる山上の垂訓教会など、数々の由緒ある場所である。

キリスト教徒にとっては、いづれも随喜の涙を流す聖地であろう。

とくにエルサレムは、ユダヤ教、イスラム教、キリスト教の三つの一神教が集まった宗教のるつぼの感があり、旧市街の中を歩くと、いわゆる「エルサレム症候群」にかかりそうになる。エルサレムを象徴する金色のドームはイスラム教の神殿であり、「嘆きの壁」はユダヤ教にとって最も神聖な場所であり、キリストが十字架を背負って歩いたというピア・ドロローサの道はキリスト教徒にとって感動を与える道であろう。しかもそれぞれが自らの歴史的存在を主張しつつ、お互いにうまく棲み分けているというバランス感覚が見られる。いづれにしても、エルサレムは世界の三大宗教の歴史の生き証人であり、それが今なお人々の生活の中に生きづいているのである。

イスラエルの聖地巡礼は、岬々たる岩山と涯しない砂漠をいくつも越える旅であった。

その砂漠と荒野の中で他民族の侵攻を防ぎつつ生きていくには、どのような備えが必要であるか、これがイスラエルの民が背負ってきた歴史的課題であり、これこそまさに「生存の知恵」であったと思う。「水と安全はただではない」というフレーズは、イスラエルを旅して肌身にしみて感じる。旅行中私たちは一人一人が2つのペットボトルの水を絶えず持ち歩いた。テルアビブのベングリオン空港で一人一人の旅行者が受けた質問は、きわめて厳しいものであった。

日本人は5～10年ぐらいの長さでしか生活を考えていないが、ユダヤ人は何千年というタイム・スパンで考えているように思う。この時間の流れを織り込んだ人間と自然との共生の知恵こそ「生存の理法」ではないか。

聖地巡礼の旅に学ぶものはこのことであった。

### 「武見賞」推薦のお願い

公益信託武見記念生存科学研究基金では、平成8年度の「武見記念賞」・「武見奨励賞」の受賞候補者の推薦を下記の要領でお願いしています。

#### 1. 趣 旨

故武見太郎博士が創造した生存科学の普及・発展を計ることを目的に、生存科学とその関連分野で顕著な業績を挙げたか、或いは現に挙げつつある研究者または実践者を顕彰してその業績を称える。

#### 2. 賞の種類

##### (1) 「武見記念賞」

生存科学とその関連分野で、顕著な

業績を挙げた研究者または実践者を顕彰する賞。受賞者は概ね60歳以上とする。

##### (2) 「生存科学研究武見奨励賞」

生存科学とその関連分野で、創造的な研究や実践的な活動を行っている方を顕彰する賞。

#### 3. 受賞候補者の推薦

前記(1)または(2)の賞を受けるに相応しい方を、所定の「推薦書」用紙に所要事項を記載して、下記事務局へ提出して下さい。なお、外国人のご推薦はご遠慮願います。「推薦書」用紙を必要とする方は事務局へご請求願います。

#### 4. 受賞者数・賞金額

「武見記念賞」と「生存科学研究武見奨励賞」を合わせて2名以内。賞金は1人50万円。副賞として記念品を贈呈。

#### 5. 受付期間

9月30日(月)まで。

#### 6. 選考方法

当基金運営委員会で審査し選考する。

#### 7. 選考結果の通知

10月31日(木)までに、受賞候補者及び推薦者に直接通知する。

#### ▼事務局 三井信託銀行株式会社

本店営業第一部公益信託室

〒103 東京都中央区日本橋室町 2-1-1

☎(03) 3277-7497 (担当：高田)

## 平成8年度第1回常務理事会

平成8年7月22日(月)午後3時から、当研究所会議室において表記の会議が開催され、今回の役員変更に伴う組織運営、専務理事の選任などについて協議が行われた。

### 1. 役員の変更に伴う組織運営について

前回のニュースでお知らせしたとおり、5月の評議員会・理事会で一部の理事の退任などが決まったので、その後の取扱について協議した。そして今回は、専務理事の選任を除き来年の役員改選まで現体制で臨むことを確認した。

### 2. 専務理事の選任について

前回の理事会で、江見副理事長・理事長代行が専務理事職も取り敢えず担当することにしたが、職制上できるだけ速やかに選任した方がよいのではないかとの提案があり、協議の結果、師岡現常務理事をその候補者として理事会に諮ることにした。

### 3. その他

①レオンチェフ教授（ノーベル経済学受賞者）から、現在贈与を受けつつある書籍や資料の保管や有効活用について

②川崎病研究に係わる公益信託設定について

③雑誌・ニュースの編纂について

などの報告と討議が行われた。

## 平成8年度第2回理事会

平成8年8月19日(月)午後4時半から、当研究所会議室にて表記の会議を開催し、新しく専務理事に師岡孝次現常務理事を選任した。

## 第5回バイオサナトロジー学会総会並びにフォーラムのお知らせ

平成8年11月22日(金)午後1時から、家の光会館（JR・地下鉄 飯田橋駅下車・徒歩5分）にて表記学会が開催されます。参加費は、会員無料、会員以外3000円です。奮ってご参加ください。

### 《プログラム》

1. 会長挨拶 土屋 健三郎
2. 美しき日本  
— 日本の伝統芸能に生きる —  
アレックス・カー
3. 安楽死について 伊藤 幸郎
4. 鼎談 — 生と死の問題について —

(終了予定 5時頃)

